

基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 1 「柑橘王国えひめ」を支える果樹産地の更なる発展を目指します

○儲かる果樹農業の確立

【取組】

果樹農業の担い手のモデルとなる「未来型果樹園」を核とした、産地の強化を目的として、

- ① 西日本豪雨災害からの復旧・復興の支援
- ② 未来型果樹園づくりに向けた生産基盤強化のための機械・施設等の整備
- ③ 商品力の向上のための集出荷貯蔵施設の機能強化等を推進
- ④ 紅プリンセス等県オリジナル品種の生産支援

【成果】

- ①
 - ・復旧園地における早期成園化のための土づくり
 - ・高品質果実生産に取り組むための防風・防鳥ネットの整備：1地区
- ② 高品質・高収量生産に必要なハウス、果樹棚、防風・防鳥ネット、かん水施設等の整備や、省力・低コスト化のための電動鋏、モノレール等の整備：11地区
(松山市、八幡浜市など)
- ③ ユズの箱詰め機械の整備：1地区
- ④ 高品質・高収量のためのハウス、防風・防鳥ネット、かん水施設の整備：3地区

【関係事業】

- ・未来型果樹産地強化支援事業費：85,757千円
- ・紅プリンセス生産販売支援事業：21,120千円



防風・防鳥ネットの整備



ハウスの整備



ユズ箱詰め機械の整備

○作業の効率化に向けた園地の改良

【取組】

機械化を可能とする園地の緩傾斜化など、生産性の高いモデル園地の整備を進め、再編整備を補完する手法として速やかな普及定着を図る。

【成果】

- ・県内4か所において園地の緩傾斜化
 - 今治市菊間町
 - 松山市由良
 - 八幡浜市高野地
 - 宇和島市柿原
- ・R4年度に小規模園地改良を行った優良なモデル園地において横展開を図るため、意識の醸成に向けた研修会を開催
 - ：4地区で参加者 約200人
 - 今治市菊間町
 - 松山市難波
 - 伊方町中浦
 - 宇和島市吉田町

【関係事業】

- ・傾斜園地作業効率化モデル整備事業費：13,760千円



農家自主施工による緩傾斜化



傾斜緩和した園地での研修会

基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 1 「柑橘王国えひめ」を支える果樹産地の更なる発展を目指します

○県オリジナル品種「媛小春」の産地づくり

【取組】

- ①栽培技術の向上による生産量拡大
- ②直販向け品目としての流通・販売支援

【成果】

- ①
 - ・弱勢中間台木を用いた早期結実実証で接木後管理を継続中
 - ・鳥害対策として、防鳥ネットによる効果を確認
 - ・早期収穫、長期貯蔵試験による品質への影響を検証上記の取組みにより、R5生産量：25.5t〔R4：10t〕
- ②
 - ・「南予の媛小春」魅力アップ協議会設立：会員数20名
 - ・作成した共通ロゴやキャッチコピーにより、宇和島産業まつり、えひめ愛ある食の市（松山）等でPR

【関係事業】

- ・「南予の媛小春」魅力アップ事業：908千円



魅力アップ協議会設立



産直市等でのPR

基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 2 水田フル活用の推進により、水田農業の持続的発展を目指します

○県オリジナル品種「ひめの凩」の導入推進

【取組】

- ・県産米全体の競争力の底上げ、農家所得向上と本県水田農業の振興を図るため、ひめの凩の生産振興や、良食味米生産体制の構築、ブランディングを一体的に実施

【成果】

- ・令和6年度認定栽培者：992名（1,011ha）
〔令和5年度認定栽培者：556名（670ha）〕
- ・共同乾燥施設の整備：2JAで計3施設
- ・首都圏（埼玉県のイオン・レイクタウン）の消費者等を対象に試食販売会やキャンペーン等を実施

【関係事業】

- ・ひめの凩ブランド力強化事業費：51,000千円



現地研修会等の様子

○省力化による持続可能な水田農業の推進

【取組】

- ・大規模で安定した農業経営と水田農業の持続的発展を実現するため、水田農業の省力化に必要な収穫機械や共同利用施設等の導入を支援

【成果】

- ・農業機械・施設の整備：8件（汎用コンバイン、トラクター等）

【関係事業】

- ・水田農業競争力強化支援事業費：17,888千円



導入した機械

基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 3 主要農作物の種子の安定供給に努めます

○主要農作物の種子の安定供給

【取組】

- ・主要農作物の生産増進を図るため、優良品種の増殖普及と優良品種への更新を促進するとともに、これに必要な原原種ほ場、原種ほ場の設置、採種ほ場の指定、ほ場審査、その他採種管理に対する指導等の実施

【成果】

- ・水稲採種ほ場 233ほ場で計6品種 計41ha
〔あきたこまち、ひめの凜、ヒノヒカリ、しずく媛、松山三井、媛育71号〕
- ・麦採種ほ場 185ほ場で1品種 34ha (ハルヒメボシ)

【関係事業】・優良種子生産体制強化事業費：77千円



栽培講習会

基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 4 収益性の向上に向けた野菜の生産体制強化に取り組みます

○儲かる品目の生産拡大や高品質化等による収益性向上

【取組】

- ・野菜等産地の規模拡大や高品質化等に必要な施設・機械等の導入を支援

【成果】

- ・いちごハウスの暖房機のリース導入：1産地、1件（大洲市）
- ・さといもの省力化機械等の導入：4産地、5件
（四国中央市、東温市、西予市、松前町）
- ・いちごの高設栽培施設、電照装置の導入：3産地、3件
（今治市、松山市、東温市）
- ・ブロッコリーの省力化機械の導入：1産地、1件（愛南町）

【関係事業】

- ・産地収益力強化支援事業：497千円
- ・野菜・花き等産地供給力強化支援事業費：14,425千円



いちご暖房機



さといも分離機



いちごの電照装置



いちご高設栽培施設



ブロッコリー移植機

基本施策(2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 4 収益性の向上に向けた野菜の生産体制強化に取り組みます

〇パクチー周年安定生産体制の確立支援

【取組】

- ① 生産者や関係機関との対策会議（2回）を開催（7、3月）
- ② 情報収集活動として、岡山県で先進地事例調査を実施（12月）
- ③ 実証ほの設置（8ヶ所）により周年安定生産を検討
- ④ 中予産パクチーの主な出荷先である関西圏等でのPR活動

【成果】

- ①
 - ・産地化への意識統一を行い、栽培講習会や現地巡回により新規栽培者5人を確保
 - ・栽培農家数：17戸〔R4年比：131%〕
- ②
 - ・先進地の「効率的な周年栽培技術」を情報共有し、生産者の栽培意欲を向上
 - ・栽培面積：130a〔R4年比：102%〕
- ③ 夏季の芯腐れ症に対するカルシウム剤散布の有効性を実証し、初夏～秋播き作型の標高別の栽培体系を確立
- ④
 - ・大阪市場の卸、仲卸業者を対象に、試食、パンフレット配布、アンケート調査を実施
 - ・都内企業の社員食堂で4メニューを提供し、中予産パクチーの認知度を向上

【関係事業】

- ・パクチー周年安定生産体制確立事業費：1,666千円



カルシウム剤散布実証ほ



大阪市場でのPR活動



推進会議の開催状況



加工事業者との商談状況



青果PR販売

〇県オリジナル品種「媛かぐや」の産地づくり

【取組】

- ① 産地育成推進会議の開催（3回）
 - ・新規栽培農家の確保や安定生産技術の確立と普及
 - ・加工事業者等と連携した需要創出について協議
 - ・各関係機関での情報共有
- ② 栽培体系の構築
 - ・セル育苗技術の導入
 - ・安定生産を目的とした混植栽培の実証ほの設置
 - ・生育状況に応じた現地栽培検討会を開催
- ③ 需要創出
 - ・一次加工業者の掘り起こし、流通体制の構築
 - ・食品加工業者（3社）へのサンプル提供
 - ・先進加工事例調査、青果での試験販売による認知度向上

【成果】

- ①
 - ・新規栽培農家を確保：3戸、4a
 - ・管内栽培農家：7戸、6a〔R4：4戸、2a〕
- ②
 - ・セル苗密植栽培の導入・規格の均一化
 - ・他品種との混植による、倒伏軽減効果を確認
- ③
 - ・加工事業者の開拓（1社）により、流通体系を構築
 - ・家庭消費には大きすぎるものの、食味については非常によい、との評価

【関係事業】

- ・「媛かぐや」産地育成事業費：1,198千円

基本施策(2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 5 新たな花きニーズの創出と収益性の向上に向けた花き産地づくりを支援します

○観賞用ユーカリ産地拡大の支援

【取組】

- ① JA、市等の関係機関との生産対策協議会の開催（5月、3月）
- ② 挿し木及び育苗講習会：3回、計35人参加
- ③ 収量及び品質向上を目指した樹形づくりの実証（2か所）
- ④ 水田ほ場における排水性改善技術の実証（2か所）
- ⑤ 新規ユーカリ品種※の導入検討（2か所）
※品種名：パルブラ、アップルボックス、ポボラス、グロブロス

【成果】

- ① 技術実証内容や生産動向について意見交換
- ② 生産者の自家育苗技術の向上
挿し木増殖困難→発根率10%（最大30%）
- ③ 従来より1本仕立てより2・4本仕立てで品質が向上
来年度、収穫最盛期を迎えるため、調査を継続
- ④ 縦穴明けによる排水性改善効果が、2年目も継続
- ⑤ 4品種を候補として地域適応性を確認したうえで、市場評価、品質面からグロブロスを除く3品種に候補を選定し、調査継続を検討

【関係事業】・観賞用ユーカリ産地拡大事業費：1,601千円



縦穴による排水性改善



新規候補4品種

○さくらひめ切り花・鉢物の生産支援

【取組】

- ① 実証ほの設置（7ヶ所）により夏季自家育苗について検討
- ② 生産者、市場、関係機関との検討会及び現地研修会（各2回）
- ③ 母の日に向けたフラワーアレンジメント体験会や、松山観光港でのPR展示を実施

【成果】

- ①
 - ・切り花：夏季自家育苗により、種苗コスト低減と高校卒業式需要に対応
取組生産者：2人〔R4：0人〕
 - ・鉢物：夏季自家育苗（短日夜冷育苗）の有効性を確認
生産量：19,800鉢〔R4：18,500鉢〕
- ② 市場動向や技術実証内容について意見交換を実施し、実証区において需要期出荷の対応ができたことを確認
- ③ 若い世代や消費者の「さくらひめ」に対する認知度が向

【関係事業】・さくらひめ産地強化事業費：1,089千円



夏季自家育苗の実証



現地研修会

○新たな花きニーズの創出

【取組】

- ・県花き関連団体のイベントを、開催時期ごとに「えひめ花いっぱいプロジェクト」と銘打って開催
- ・開催イベントをまとめたPRチラシを作成し、マスメディアへ情報提供（県HPに掲載）
- ・写真を募集し、当選者へ花チケットをプレゼント（応募者：74人）

【成果】

- ・インスタグラムでの若い世代をターゲットにした情報発信
→フォロワー数：208人 ※令和5年度末時点
- ・花を活用したオブジェを設置し、県産花きをPR：2会場

【関係事業】・えひめ花いっぱいプロジェクト開催費：1,125千円



オブジェの設置

基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 6 魅力ある畜産ブランドの生産体制の強化に取り組みます

○生産基盤の強化

【取組】

- 国補助事業や県単補助事業（畜産新技術等導入支援事業費）による施設整備や機械導入、畜産関連既存施設の補改修を推進

【成果】

- 畜舎の施設整備：1件〔R4：1件、R3：0件〕
- 機械等の導入：18件〔R4：21件、R3：46件〕
- 既存施設の補改修：16件〔R4：24件、R3：23件〕

【関係事業】

- 畜産経営技術指導事業費：4,060千円
- 畜産新技術等導入支援事業費：20,511千円



分娩豚舎の補改修

○生産体制の強化

【取組】

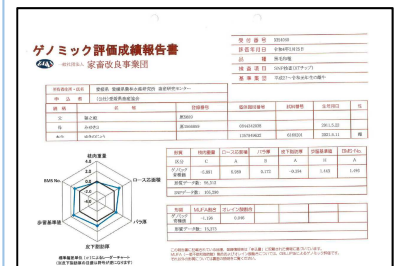
- 生乳生産期間の延長による乳用牛の生涯乳量向上に向け、公共牧場を活用した子牛育成期の管理強化やICT機器を活用した繁殖管理を推進
- 愛媛あかね和牛の生産強化に向けて、遺伝子検査等を活用し、子牛の高品質生産体制の構築を推進

【成果】

- 公共牧場等で強化育成した頭数：316頭〔R4：383頭〕
- 愛媛あかね和牛生産頭数：179頭（目標頭数：240頭）

【関係事業】

- 乳用牛生涯乳量向上事業費：7,396千円
- 愛媛あかね和牛産地化支援事業：10,846千円



子牛の高品質化に向けたゲノミック評価

○畜産経営の安定化

【取組】

- 経営体質の転換に向け、新たな自給飼料の生産拡大や耕畜連携等への取組みを支援（飼料生産資材、機械リース料等）
- 飼料コスト低減や生産性向上などに取組む畜産農家を支援
- 牛肉消費低迷に伴う枝肉価格の低下や長引く飼料・資材価格の高騰により厳しい経営環境にある肥育牛生産者を緊急的に支援

【成果】

- 自給飼料増産への取組支援件数：24件〔R4：82件〕
（支援項目：牧草種子、ラップ、ネット、収穫作業委託料等）
- 支援農家数：延べ429戸〔R4：延べ410戸〕
- 支援農家数：56戸

【関係事業】

- 酪農・畜産飼料価格高騰対策緊急支援事業費：499,959千円
- 肥育牛生産者緊急支援事業：9,456千円



自給飼料生産の取組支援

基本施策(2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 7 産地や農業者の期待に応える試験研究を推進します

○サトイモ大規模省力生産技術の開発

【取組】

- ・大規模・広域集団栽培技術、無人選別技術、未利用資源の有効活用技術など、生産から出荷・販売に係る一貫的な技術を開発

【成果】

- ・ハイクリアランス仕様の乗用農機による省力化体系を確立し、土入れ作業が従来機に比べて作業時間を1/3に削減
- ・芋を腐らせる土壌病害の効果的な防除法（種子消毒、土壌混和处理等）を開発し、種子消毒等の処理による塊茎腐敗軽減効果を確認
- ・ドローン利用による新たな防除体系の確立し、薬剤3剤（疫病、ハスモンヨトウ）の適用拡大に貢献

【関係事業】

- ・サトイモ大規模省力生産技術開発事業費：8,999千円



乗用農機を利用した
土入れ作業

○キウイフルーツ花粉安定生産技術の高度化

【取組】

- ・キウイフルーツかいよう病の世界的な流行による、花粉の輸入制限や価格高騰を受け、不安定な輸入花粉に頼らず、自給する取組を支援するため、大規模に生産する技術を開発（前事業：キウイフルーツ花粉安定生産技術開発試験）
- ・令和3年度までに花粉生産から精製する体制が国内で初めて整ったことから、前事業を昇華し、収穫作業の分散化や花粉収量増大に向けた試験を実施

【成果】

- ・松野町で3戸、18.6aで栽培を開始し、花粉精製工場を整備
- ・令和4年に0.2kg収穫し、令和5年に受粉試験を実施
- ・令和5年に1.9kg収穫し、令和6年に初販売の予定
- ・Tバー仕立てによる簡易雨よけ施設により10.4a規模拡大
- ・樹体付近の局所加温により収穫時期を前進

【関係事業】

- ・キウイフルーツ花粉生産技術高度化試験研究費：1,200千円



国内初のサイクロン式
花粉精製機



局所加温により収穫
時期を前進

○かんきつせん定技術習得システムの開発

【取組】

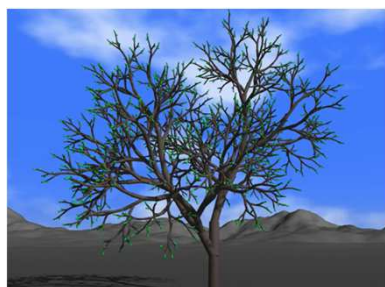
- ・生産者が減少していく中、新規就農者が一人前のせん定技術を習得するため、飛躍的に進歩しているデジタル技術を活用し、せん定技術を習得できる「かんきつせん定シミュレータ」を開発

【成果】

- ・ドローンを用いて大型樹と小型樹の3Dモデル作成
- ・みかん樹木を生成する手法を検討
- ・VRゴーグルにより試作したシミュレータの動作確認

【関係事業】

- ・かんきつせん定技術習得システム開発費：2,100千円



樹木生成シミュレーション

基本施策(2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 7 産地や農業者の期待に応える試験研究を推進します

○未来型農林水産研究プロジェクトの推進

【取組】

- ・今後の地域間競争に打ち勝ち、持続的に地域を発展させるために、各地域の将来目標を実現する研究テーマを掲げ、農林水産研究所が組織をあげて取り組む当該プロジェクトを実施することにより、目標設定解決型の試験研究を展開し、農林水産業の更なる活性化を推進する。

【成果】

- ① ブレイクスルーでつかみ取る!! サトイモ・スーパー品種の開発
 - ・重イオンビームの照射強度を最適化し、獲得効率(個数)を倍増(年間224個体から450個体へ)
 - ・照射後の個体から、多収等の優良16系統を選抜
- ② 未来型かんきつオリジナル品種の開発
 - ・南柑20号について、プロトプラスト精製方法を確立
 - ・未成熟胚からのカルス誘導条件と培養条件を確立
- ③ 全国初! スマホにお知らせ「できるサトイモ栽培」支援システムの開発
 - ・サトイモに水分ストレスを与えたときのサトイモの反応を、各種センサー及びカメラ等によって確認
 - ・蒸散量の日変化、時期毎の変化及び水分ストレス後の変化を測定

【関係事業】

- ・未来型農林水産研究プロジェクト推進事業費：6,080千円



変異処理した親株から再生



未成熟胚から誘導された南柑20号のカルス

○水稻品種育成加速化技術の開発

【取組】

- ・主要品種の「あきたこまち」の品質が極めて悪く、生産者からは有望品種への切り替え要望が強いことから、品質・食味が良く収量が安定した早生品種の早期育成と普及を目指すため、DNAマーカー育種技術の確立と電子野帳を開発する。

【成果】

- ・高温耐性品種から高温耐性遺伝子2種を検出
- ・水稻の生育調査用電子野帳プログラムを試作し、デジタルメジャーとタブレットをBluetoothで連動させ、生育調査データを直ちに保存

【関係事業】

- ・水稻品種育成加速化技術開発試験費：1,200千円



デジタルメジャーで測定(左)し、タブレットでデータを確認(右)

○キウイフルーツ生産技術の開発

【取組】

- ・異常気象等に起因する生育不良を克服する安定生産技術を開発し、キウイフルーツ生産量日本一の座を堅持することを目指す。

【成果】

- ・湿害に強い台木「バウンティ」を選抜し、水田転換園での現地実証
- ・改植後の生育不良対策として、大苗育苗の技術開発を実施
- ・開花期の多雨対策として、簡易雨よけ栽培を検討
- ・雨よけ施設を利用し、夏期異常高温対策として遮光栽培を検討

【関係事業】

- ・異常気象に負けないキウイフルーツの生産技術開発費：1,000千円



水田転換園での現地実証

基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 7 産地や農業者の期待に応える試験研究を推進します

○紅プリンセス高品質化栽培試験

【取組】

- ・紅プリンセス（愛媛果試第48号）栽培における、果皮障害や生理障害、肥培管理や貯蔵条件の課題を解明しスムーズな産地化を後押しする。

【成果】

- ・す上がり軽減技術として樹形がポイントであることを確認
- ・ネック果、日焼け、クラッキング、微裂果軽減技術を開発中
- ・適正施肥、灌水量、貯蔵条件について検討中

【関係事業】

- ・紅プリンセス高品質化栽培試験費：2,196千円



す上がりの無い開帳
気味の樹形

○天敵を利用したアザミウマ防除技術の開発

【取組】

- ・県内の施設栽培‘愛媛果試第28号’に発生するミカンキイロアザミウマは、強度の薬剤抵抗性を獲得し、薬剤による防除が困難となっていることから、薬剤以外の手法を組み合わせた防除方法を開発する。

【成果】

- ・天敵のタバコカスミカメ及びスワルスキーカブリダニの防除効果を検討中
- ・殺虫剤に気門封鎖剤を混用することで、ミカンキイロアザミウマの死亡率が78.5%に向上（殺虫剤単用での死亡率は17.6%）

【関係事業】

- ・天敵等を利用したアザミウマ防除技術開発試験費：965千円



ミカンキイロ
アザミウマ成虫

○畜産生産技術等の開発

【取組】

- ・家畜の暑熱対策や飼料価格の高騰対策、効率的・省力的な家畜管理など、畜産農家が抱える課題を解決へ導く技術を開発する

【成果】

- ・飼料用とうもろこしの増産に向け、アミノ酸液肥利用による低コスト栽培や豪雨などの短期冠水被害の軽減効果を調査
- ・銘柄豚生産に係る飼料コストの低減を図るため、アミノ酸比率法を用いた飼料により、飼養期間の短縮を確認
- ・養鶏農家の生産コスト低減による体質強化を図るため、脱脂粉乳の養鶏飼料への利用可能性を確認

【関係事業】

- ・畜産試験研究費：28,737千円
- ・低コスト県産養鶏飼料開発事業費：2,400千円
- ・とうもろこし有機肥料利用技術確立試験費：1,137千円
- ・銘柄豚収益向上技術開発試験費：1,067千円



冠水被害軽減試験
(左：試験区、右：対象区)

基本施策(2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 8 地域に密着した普及指導活動の推進により、
足腰の強いえひめ農業を確立します

〇産地づくりと地域づくりの推進

【取組】

- ① 対象・活動の重点化及び特色ある普及活動の展開、出口戦略を見据えた生産振興を実施
- ② ミドル層での先進技術の実証や流通販売促進の取り組みを支援
- ③ 流通面から産地の競争力を強化するため、普及指導員が、実需者の消費動向、県産農産物や加工品の流通上の問題点等を調査
- ④ 県下の普及指導機関等を高画質映像で結び、複数の専門家の助言に基づいた高いレベルの農作物診断がリアルタイムに行える生産支援システム開発を実施

【成果】

- ① 策定した
 - ・産地づくりビジョン：54課題
 - ・地域戦略ビジョン：33課題に取り組み、生産振興を推進
- ②
 - ・先進技術（施設、機械等）の導入：5件
 - ・流通販売促進の支援：3件
- ③
 - ・流通・販売調査等：8件
 - ・調査結果を関係者に情報提供
- ④
 - ・リアルタイム診断システムの運用上の課題解決
 - ・通信中の高画質画像撮影に対応したシステムの改良を実施

【関係事業】

- ・普及活動促進費：32,147千円
- ・儲かるモデル産地育成システム確立推進事業費：20,365千円
- ・リアルタイム農業普及指導ネットワーク構築事業費：14,962千円



ひめの凜栽培講習会



紅プリンセス栽培講習会



ミニトンネルハウスでの栽培実証支援



パクチー産地づくりのための
大阪市場での販売促進



普及指導員による
首都圏での流通研修



リアルタイム診断システム

基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 8 地域に密着した普及指導活動の推進により、
足腰の強いえひめ農業を確立します

○七折小梅の産地再興に向けての支援

【取組】

- ① 着果不良の原因究明と技術実証
- ② 優良系統樹の選抜と優良苗木の育成更新
- ③ 高齢化に対応した省力化技術の実証
- ④ 新規就農者の確保

【成果】

- ①
 - ・不完全花及び花粉の発芽不良要因の一因として、昨年の秋から冬にかけての高温等を確認
 - ・優良系統1種類を選抜
- ②
 - ・母樹園設置による苗木育成、供給体制を構築
 - ・改植面積：100a
- ③ 電動農機（チェーンソー2台、はさみ1台）導入
- ④ 新規研修生を確保：1人

【関係事業】

- ・七折小梅産地再興支援事業費：1,522千円



実証調査の状況を情報共有



母樹園の設置状況

○高級菓子用くだもの産地確立に向けた支援

【取組】

- ① 生産体制の整備を支援
 - ・ファクトリーブランド促進協議会の実施支援
 - ・持続的な生産体制の整備
- ② 省力・多収栽培技術（もも、かき、びわ）の確立支援
- ③ 省力・多収栽培のマニュアル作成

【成果】

- ①
 - ・生産供給目標や安定供給対策の協議：全体2回、品目別2回
 - ・新規栽培者：2人及び1法人、生産拡大：1人
- ② 加工用くだもの省力・多収技術
 - ・もも：早採り栽培技術の確立実証
 - ・かき：新梢管理による摘果作業の省力化、ポリ袋個装果の冷蔵貯蔵による軟化症軽減効果を確認
 - ・びわ：袋掛けの省力化、明渠設置による排水対策の有効性を確認
- ③ マニュアル作成に向け栽培管理の写真や動画を撮影

【関係事業】

- ・高級菓子用くだもの産地確立事業費：1,074千円



ファクトリーブランド
促進協議会



柿の多収剪定指導

○省エネルギー化等による生産性向上に向けた取組み支援

【取組】

- ・燃油高騰に対応できる経営体質への転換に必要な省エネ機器等の導入を支援。

【成果】

- ・施設園芸におけるヒートポンプや省エネ暖房機、高性能被覆資材等の導入：6産地（協議会）で18件

【関係事業】

- ・施設園芸省エネルギー化緊急支援事業費：79,620千円（R4年度）



ばらハウスのヒートポンプ

基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 8 地域に密着した普及指導活動の推進により、足腰の強いえひめ農業を確立します

○省エネルギー化等による生産性向上に向けた取組支援

【取組】

- ・燃料の価格高騰の影響を受ける施設園芸農家の負担軽減を図るため、国セーフティネット構築事業に加入している農家に対して、燃料経費の一部を支援
- ・農業用資材の価格高騰の影響を受ける農業者の農業経営への影響を緩和するため、被覆資材の価格上昇の一部を支援

【成果】

- ・国セーフティネット構築事業加入者：67戸
(R4年：37戸)
- ・農業経営を継続する農家数（支援農家数）：1,168戸

【関係事業】

- ・施設園芸燃料高騰対策緊急支援事業費： 4,590千円
- ・農業用被覆資材価格高騰対策緊急支援事業費： 11,306千円

令和5年度「施設園芸セーフティネット構築事業」加入事業のご案内

省エネ化とセーフティネットで燃料価格高騰に備えましょう

✓ 国と農業者で立ててを行い、燃料価格高騰時に補助金をお支払いします
(自身の積立金の2倍を限度に補助)

✓ 補助金に使用されなかった割戻の積立金は、事業終了後に還付されます
(横付けではありません)

申込期間 (締切期 7月20日必着)	対象期間																									
対象期間開始2か月前までに、申込書を提出して、施設園芸への資料提出が必須です。申込書へは、余裕をもってお申し込みください。	10月から翌6月までの間から選択																									
加入要件	対象農産物																									
<ul style="list-style-type: none"> 施設園芸農家 3戸以上、又は専従者数 5名以上で構成する農業従事者等 ※同一市内の3戸以上の農家 3年間で燃料使用量を15%以上削減する計画 (省エネルギー等推進計画) の作成 目標を立てては、農業をご覧ください。 	施設園芸 (野菜、果樹、花きの栽培) の用に資するA重油、灯油、LPガス、LNG																									
積立金	積立コース																									
積立金 = 積立単価 × 年間燃料購入予定数量 × 1/2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>コース</th> <th>A重油</th> <th>灯油</th> <th>LPガス</th> <th>LNG</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>115%</td> <td>12.2</td> <td>13.0</td> <td>16.0</td> <td>8.6</td> </tr> <tr> <td>130%</td> <td>円/L</td> <td>円/L</td> <td>円/kg</td> <td>円/m³</td> </tr> <tr> <td>150%</td> <td>24.5</td> <td>25.9</td> <td>32.1</td> <td>17.1</td> </tr> <tr> <td>170%</td> <td>円/L</td> <td>円/L</td> <td>円/kg</td> <td>円/m³</td> </tr> </tbody> </table>	コース	A重油	灯油	LPガス	LNG	115%	12.2	13.0	16.0	8.6	130%	円/L	円/L	円/kg	円/m ³	150%	24.5	25.9	32.1	17.1	170%	円/L	円/L	円/kg	円/m ³
コース	A重油	灯油	LPガス	LNG																						
115%	12.2	13.0	16.0	8.6																						
130%	円/L	円/L	円/kg	円/m ³																						
150%	24.5	25.9	32.1	17.1																						
170%	円/L	円/L	円/kg	円/m ³																						
(例) A重油を年間10,000L購入予定の方 が130%コースに申し込む場合 24.5 × 10,000 × 1/2 = 122,500円	積立単価 = 積立単価 × 1 × 当月燃料購入数量 × 70% ※2 補助単価は、積立コースにかかわらず、同様です ※1 補助単価は各月の指標価格一発動基準価格 ※2 価格急騰時には、100%に引き上げられます。																									

国セーフティネット構築事業パンフレット



農業用被覆資材 (ハウスビニール・マルチ)

○肥料価格高騰への支援

【取組】

- ① 堆肥散布機や化学肥料低減可能な局所施肥田植機などを導入する生産者を支援
- ② 国が実施する緊急支援事業に対し、県が推奨する項目に取組む生産者に対し上乗せ支援を実施
- ③ 急傾斜園地や小規模水田において化学肥料低減に向けた土づくりに必要な省力化機械の導入を支援

【成果】

- ① 土づくり・施肥診断等の機械設備整備支援を実施
- ② 肥料価格高騰に対する緊急支援を実施
- ③ 化学肥料低減に向けた土づくりに必要な省力化機械整備支援を実施

【関係事業】

- ・肥料価格高騰対策支援事業費： 66,583千円
- ・化学肥料低減定着対策支援事業費： 11,648千円



導入したマニアスプレッタ